

# 今年は12月に県議会議員選挙があります



# こんな社会でいいのでしょうか

「自民党をぶっこわす」と言って登場した小泉首相。この5年間で、こわしたのはむしろ「庶民の生活」ではないでしょうか。そして、いま、「格差社会」の広がりが大問題になっています。

## 格差をなくすのは政治の責任

いま労働者の三人に一人、青年と女性の二人に一人はパート、派遣など、低賃金の非正規雇用のもとで働いています。しかも完全失業者の半分は若者です。このことは、「少子化」が進む一因ともなり、子どもの教育にも影響を与えています。給食費、授業料が払えない、学校中退や

進学断念など、子どもの将来や夢をも奪う結果になっています。

三月市議会で、日本共産党の代表質問に市執行部は、「非正規雇用は社会的問題」とし、「実態の把握に努めたい」と答弁しています。

## くらしを守る連帯の輪を

国の地方自治体への「構造改革」の押し付けは、日立市民にも及んでいます。年金の給付が減るのに、介護保険料や国保料が値上げになり、障害者にも一割の自己負担が強いられています。定率減税の廃止など庶民増税の一方で、大企業には減税

## 日本共産党

こんな弱肉強食の政治が続けば、くらしは大変になるばかりです。こういふときだからこそ、県民のくらしを守る県政へ日立から変えていきましょう。



## 日立市議会議員 (県議選予定候補)

# 根本陽一

私は生まれ育ち農業を営むこの町を「住みよいまちにしたい」との思いから、十王町議七期、日立市議二期をつとめてきました。

毎日の大変なくらしのなかで、青年が希望をもって働ける社会、農業や商工業の現場でも働く意欲をもてる政治が強く求め

られています。

また、人口が二〇万人を割った日立市で、子育ても、老後も、「安心して住み続けられる」まちづくりが課題になっています。

私は、いままでの議員経験を生かし、一人ひとりが大切にされる県政、平和と安全な郷土をめざして力をつくします。

### プロフィール

1947年 / 十王町伊師生まれ(59歳)。水戸農高、千葉大園芸学部別科修了。農協営農指導員を経て農業に従事。1973年 / 日本共産党に入党。1980年 / 十王町議に当選。以来連続して議員7期。現在、日立市議会議員、県北農民センター会長。家族・2男、母。

## 日本共産党躍進のつどい

党創立 84周年記念



参議院議員  
**紙智子**  
かみ ともこ

7月12日(水) 午後7時  
水戸市民会館  
大ホール

# みなさんと力をあわせて

## とりくんできました

日本共産党  
市議会議員

# 根本陽一



根本市議は、切実な市民のみなさんの願いを県政に届け、実現するために県議団と力をあわせて努力してきました。県議会は自民、公明も民主も「オール与党」。そのなかで日本共産党は唯一の野党として、ムダづかいをただし、県民要望をねばり強くとりあげ、一步一步、実らせてきました。

## くらしと福祉を守る

子ども医療費助成が拡大  
養護学校の施設改善  
介護保険で軽減策を要求

昨年11月から子ども医療費助成が就学前まで拡大されました。日本共産党は県民の運動と力をあわせて、知事にはじめて検討を約束させたものです。

介護保険の独自減免の提案は、県内市町村で広がっています。

大門参院議員、根本市議らは、04年9月に日立製作所日立事業所で起きた死傷事故で日立労働基準監督署と交渉し、万全の補償と労働環境の改善を要求するなど働くものの立場で奮闘してきました。



日立労基署と交渉する根本市議 (04年12月17日)

## 住みよいまちをつくる

大型店規制、商店街振興  
住宅リフォーム助成を提起  
日立電鉄線の存続を要求

野放しの大型店進出から地元商店を守る県の独自条例を提起。撤退にも事前協議や代償措置を求めてきました。

提案している住宅リフォーム助成制度は、県内自治体に広がっています。

日立電鉄線の存続のため、高校生や市民とともに運動を広げました。



あり日の日立電鉄線 = 大橋 川中子間 (廃止直前の05年3月末)

## ムダづかいをただす

過大予測の水開発を追及  
知事が見直しを表明  
くらしに役立つ公共事業を提起

港湾、空港、ダムなど大型公共事業のムダづかいを独自の調査で告発し、中止を求めてきました。

3月の県議会で日本共産党は、一人一日に使う水量を3割も過大に見込んでいることを指摘、知事は計画を見直す考えを示しました。

公共事業は大型中心から、学校改修、福祉施設の建設、住宅や生活道路など、くらしや地域経済に役立つものにと提起しています。



ムダづかいが指摘されている常陸那珂港建設

## 平和と憲法をまもる

憲法9条をまもれ  
百里基地への米軍機訓練  
移転反対

百里基地への米軍機訓練移転のおしつけに住民の反対運動が広がっています。日本共産党の質問に知事は「県としても反対」を表明しました。

情報公開、県民参加を提起。不正・腐敗を徹底追及し、公共事業受注企業からの献金禁止を求めてきました。

自治体の一番の仕事は「住民の福祉の増進」(地方自治法)にあると主張。憲法と地方自治が生きる県政の実現をめざしています。



防衛庁に米軍機訓練移転計画の撤回を要求 (06年4月27日、衆院第2議員会館)

## 草の根でがんばっている 政党です

日本共産党は、全国の職場・地域・学園に2万4千をこえる支部があります。茨城ではすべての市町村に支部があり、草の根で住民の利益を守って活動しています。平和・憲法・基地問題や消費税増税反対の運動はもろろん、身近な住民要求を取り上げていくために、「住民アンケート」などもおこなっています。

寄せられた声をもとに、党支部が住民のみなさんと署名運動を取り組んだり、党議員が議会で質問をおこない、地域

要求の実現をめざしている政党です。

また、小泉「構造改革」政治のもとで格差の社会的な広がりがすすむなか、借金問題や生活保護、医療、介護、法律相談など多くの住民の悩みにこたえる「生活相談」活動も各地で開催するなど、草の根で住民のくらしを応援している政党です。

困りごとは、ぜひお近くの党支部、党議員にご相談ください。



### 県内で...

地方議員 77人 ..... 女性議員 33人

### 全国で...

日本共産党員首長 6人  
狛江市(東京)、湯沢市(秋田)、陸前高田市(岩手)  
福崎町(兵庫)、国見町(福島)、木曾町(長野)

地方議員 3,404人

女性議員 1,119人

(2006年5月1日現在)

## 茨城県政はいま...

### 県民の願いは

県が毎年調査している「県政への要望」では、1位は高齢者福祉、2位は医療の充実で

### ところが福祉施設は民間委託・廃止

唯一の県立児童養護施設「友部みどり学園」は廃止。「内原厚生園」は他施設に統合。県立特養ホーム・救護施設は民間に売却されました。

### 今度は県立病院も

県立中央病院や友部病院など3つの病院は、民間委託を含めた検討に入っています。

### 教職員を削減、補充は臨時講師

「行革」の中心は人員削減です。この8年間、教職員は1319人減らされました。定員に欠員が生じても補充するのは臨時講師。その数は今年919人に及びます。

### 一方で港湾・空港・ダムには巨費投入

福祉や教育の予算を削り、一方で推進しているのが大型公共事業。常陸那珂港・北ふ頭は貨物量実績がまだ計画の3割台。それなのに実績の6倍もの中央ふ頭を新たに着工。すでに3400億円の事業費が投入されています。

進出企業の県税免除は37億円  
財政危機といながら、進出企業には県税免除。今年からこの免除措置をさらに3年間延長しました。

## 茨城県政と県議会

### 問題点をみる

### 県政のチェック役 県議会は...

提出された議案を県民の立場でチェックするのが議会の大事な役目です。ところが、茨城県議会は、県民負担や福祉切り捨ての議案はすべて可決されています。日本共産党以外の会派は知事の与党として賛成しているからです。

茨城県議会 定数65の構成  
自民党(45)、自民県政クラス7、民主清新クラス5、公明党3、日本共産党2、無所属1、欠員2(06年5月1日現在)

### 最近の主な条例案・請願に対する態度

〔県民負担増の条例案〕	自民	自民県政	民主清新	公明	共産
県立職業校の授業料値上げ	●	●	●	●	○
県立高校の授業料値上げ	●	●	●	●	○
看護学院の授業料値上げ	●	●	●	●	○
県立児童養護施設の廃止	●	●	●	●	○

●は賛成 ○は反対

### 〔県民要望の請願〕

	自民	自民県政	民主清新	公明	共産
日立電鉄線の復活支援	●	●	●	●	○
乳幼児医療費の自己負担撤廃	●	●	●	●	○
30人学級の実現	●	●	●	●	○
養護学校の施設充実	●	●	●	●	○

●は賛成 ○は反対

### 一般質問は年30人に制限

議会は言論の府。発言は最大限保障されなければなりません。ところが茨城県議会では一般質問を年間30人に制限する異常なことを強行しています。

橋本県政の問題点を明らかにし、県民の声を県政に届けている日本共産党の一般質問は年1回に制限。

日本共産党は県民に開かれた県議会改革を提案し、改善を求めています。



重税反対全国統一行動の日立集会で「定率減税は廃止するな」と訴え、参加者とデモ行進する根本市議

# くらしの向上、平和を願って7期26年 いつも住民とともに 日本共産党 根本陽一

## 平和を守るが活動の原点

日本共産党に入党直後、ダム建設の問題や町に誘致されようとした自衛隊爆破訓練場阻止のたたかいがありました。短期間で多くの署名を集め、議会傍聴をするなど地域のみなさんと力をあわせて、爆破訓練場誘致を阻止することができました。それが私の党活動の原点になったと思います。

毎年行われている国民平和大行進には欠かさず参加しています。



## 安全・安心の食料産直運動

農民運動茨城県連合会の県北農民センター会長として農家の税金相談や「顔の見える食べ物を」の産直運動などに関わって、農家や消費者のみなさんといっしょに活動していることも誇りです。

## 実を結んだ多くの提案

日本共産党の議員として町民のみなさんとともに取り組み、学校給食の民間委託ストップ、町立保育所の存続、学童クラブの実現、そして乳幼児医療費の助成拡大、非核平和の町宣言などの多くの提案が実を結んでいます。また、炭坑で働いた方のじん肺健診の実施や下水道終末処理場、国道四六二号線建設に伴う地域要望の実現などに関わってきました。

## 住民が主人公の政治をめざして

いま、「市民のくらしを守る」日立市議団として活動しています。今度はみなさんのご支援を受け、「住民こそ主人公の政治」を目指して、県政の場で思う存分働きたいと思えます。

(根本陽一 手記)

## みなさんと力をあわせてとりくみます

- 一、ムダな大型開発を改め、福祉、教育、くらし最優先の県政をめざします。
- 二、介護施設の増設、介護保険料・利用料の減免、在宅介護の充実をはかります。
- 三、乳幼児医療費の負担軽減、保育所や児童クラブなど子育て環境の整備をはかります。
- 四、三〇人学級の実現や父母負担の軽減をはかり、ゆきとどいた教育をめざします。
- 五、大企業のリストラ規制条例の制定、中小企業支援で若者の雇用の安定をはかります。
- 六、交通渋滞の解消、生活道路の整備、原発の危険から住民の安全を守るなど住みよいまちづくりをめざします。

## 住民の願い実現にむけ、私たちががんばります



小林真美子市議  
鮎川以北、十王町全域  
入四間、東河内



大曾根勝正市議  
鮎川以南

主な活動地域

「子育ても老後も、安心してくらしたい」  
みなさんの願いをしつかり受けとめられる根本陽一さんを県政に送り出すため、私たちも全力をつくします。

## しんぶん赤旗

くらしに役立ち真実を報道する新聞です。

購読申込書	をつけてください	お名前 ご住所	☎ ( )
	・日刊 月2900円 ・日曜版 月 800円		

お申し込みはお近くの党事務所または党员が下記の住所まで  
日本共産党北部地区委員会 〒319-1225 日立市石名坂町1525-21 電話0294-53-8501

## ぜひ募金にご協力ください

日本共産党の活動はみなさんによって支えられています。募金にご協力ください。もよりの党事務所か、お知り合いの党员にご連絡いただくか、下記にお送りください。



銀行振込：常陽銀行大みか支店 普通口座1142216  
日本共産党北部地区委員会